

shindaiwa[®]

取扱説明書

LEDバッテリー投光機

SMB241LLG

⚠ 注意

安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

SMB241LLG
X753-007 99 1
X753818-040 1

はじめに

このたびは、新ダイワのLEDバッテリー投光機をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。本機の取扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
- 投光機用台車の取扱いについては、投光機用台車の取扱説明書をお読みください。
- 本機の取扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取扱いができる人が行ってください。また、安全作業上で影響が出るような病気・薬服用・体調不良のときは、本機の使用を控えてください。
- 本機を使用した作業や本機の取扱いにおいては、関連する法律（労働安全衛生法、電気事業法、電気工事士法、消防法、騒音規制法等）およびそれらの法律に基づく規則を遵守してください。
- 本機を貸し出すときは、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するよう指導してください。
- この取扱説明書は、いつでもご覧いただけるよう、所定の場所に大切に保管してください。紛失・汚損・破損したときは、お求めの販売店にご注文ください。
- ご不明な点、お気づきの点がありましたらお求めの販売店にご相談ください。また、本機についてのお問い合わせ時は、モデル名と製造番号をお知らせください。
- 本機を廃棄される場合は、産業廃棄物として関連法規に基づいた処理を行ってください。処理にお困りのときは、お求めの販売店にご相談ください。

■この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

 **警告**：取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。

 **注意**：取り扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性がある場合および物的損害が発生する可能性がある場合。

<注意>：本機の保護と、本機の性能を十分に発揮させるための注意事項。

- 『 **注意**』に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

目次

1. 安全上の注意	2
2. 仕様	4
3. 用途	4
4. 各部の名称	5
5. 購入時点検・整備	6
6. 装備	6
6-1. 充電スイッチ	6
6-2. モニターランプ	6
6-3. 点灯スイッチ	7
6-4. 照度調整つまみ	7
6-5. 電源プラグ	8
6-6. バッテリー接続コネクタ	8
6-7. 灯具接続コネクタ	8
6-8. バッテリー容量表示	8
7. カートリッジ式バッテリーの取付け・取外し方法	9
8. バルーンヘッドの取付け・取外し方法	10
8-1. バルーンヘッドの取付け	10
8-2. バルーン布の取付け	10
8-3. 灯具接続コードの取り回し	11
8-4. 灯具カバーの取り付け	11
9. 運転手順	12
9-1. バッテリーの充電	12
9-2. 点灯	13
9-3. 消灯	13
9-4. 灯具の収納	13
10. 点検・整備	14
10-1. カートリッジ式バッテリーの管理	15
10-2. フィルターの清掃	15
10-3. バルーン布の汚れ落とし	15
10-4. バルーン布の補修	15
11. 長期保管	15
12. 故障時の対応	16

1. 安全上の注意

⚠ 警告：転倒／けが

- バッテリー発電機は必ず投光機用台車に取り付けて使用し、転倒風速以下で使用してください。転倒風速は投光機用台車の取扱説明書を参照してください。
- 地盤のしっかりした水平な場所で使用してください。

⚠ 警告：落下／けが

- カートリッジ式バッテリーを本機から外して運ぶときは、必ずハンドルを持って運んでください。また、安全のため、安全靴を着用してください。
- 投光機用台車の灯具軸にバルーンヘッドを取り付けるときは、灯具固定ノブのネジ部先端を灯具軸側面の抜け止め穴に入れて確実に締めてください。

⚠ 警告：感電

- 充電中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
- 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手でしないでください。
- 本機の充電中は、3ピンの電源プラグ接地ピンまたは、アース線を接地して使用してください。
- 点検・整備を行うときは、必ず電源プラグを電源から抜き、バッテリー接続コードも抜いてください。
- 電源コード、バッテリー接続コードは傷ついた状態で使用しないでください。

⚠ 警告：発熱・発火・破裂

- カートリッジ式バッテリーは本機もしくは別売の専用充電器以外で充電しないでください。
- カートリッジ式バッテリーを火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないでください。
- 水などで濡れたカートリッジ式バッテリーを使用しないでください。
- カートリッジ式バッテリーを変形やショートさせたり、分解・改造しないでください。
- カートリッジ式バッテリーに強い衝撃を与えないでください。落下等の強い衝撃を与えたときは使用しないでください。

⚠ 警告：視力障害

- ランプの近くで長時間作業したり、ランプを直視しないでください。

⚠ 注意：感電

- 本機に水をかけたり、雨中で使用しないでください。

⚠ 注意：爆発・火災

- カートリッジ式バッテリーの着脱を行うときには、接続端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。

⚠ 注意：やけど

- LED点灯時や消灯直後は、バルーンヘッドが高温になっていますので触れないでください。

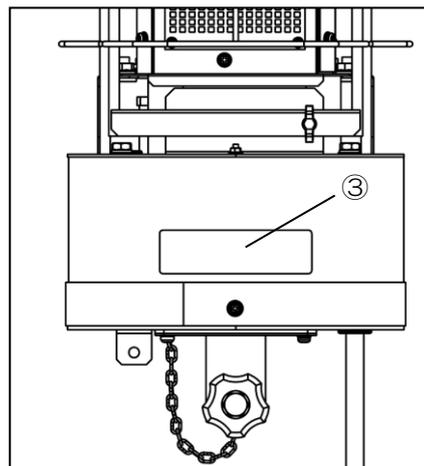
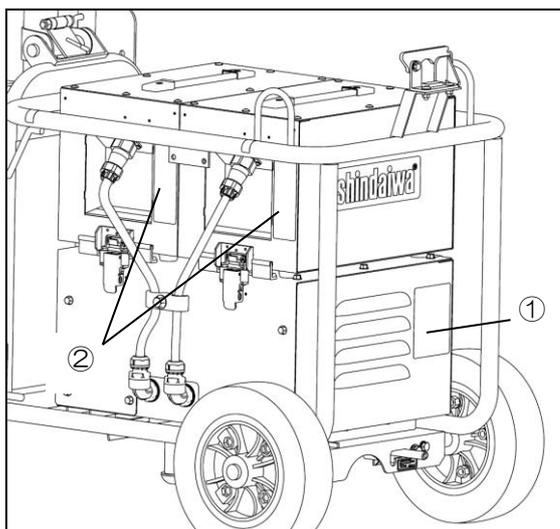
⚠ 注意：けが

- 改造したり、部品を外したまま使用しないでください。

■警告ラベルの貼付位置

警告ラベルが見えにくくなったり破損したときは、新しいラベルを指定場所に貼りかえてください。ラベルの注文は（ ）内の番号で注文してください。

- ① 感電・発熱／発火／破裂
(部品番号 X505-011100)
- ② 発熱／発火／破裂
(部品番号 X505-011110)
- ③ やけど
(部品番号 X505-005390)



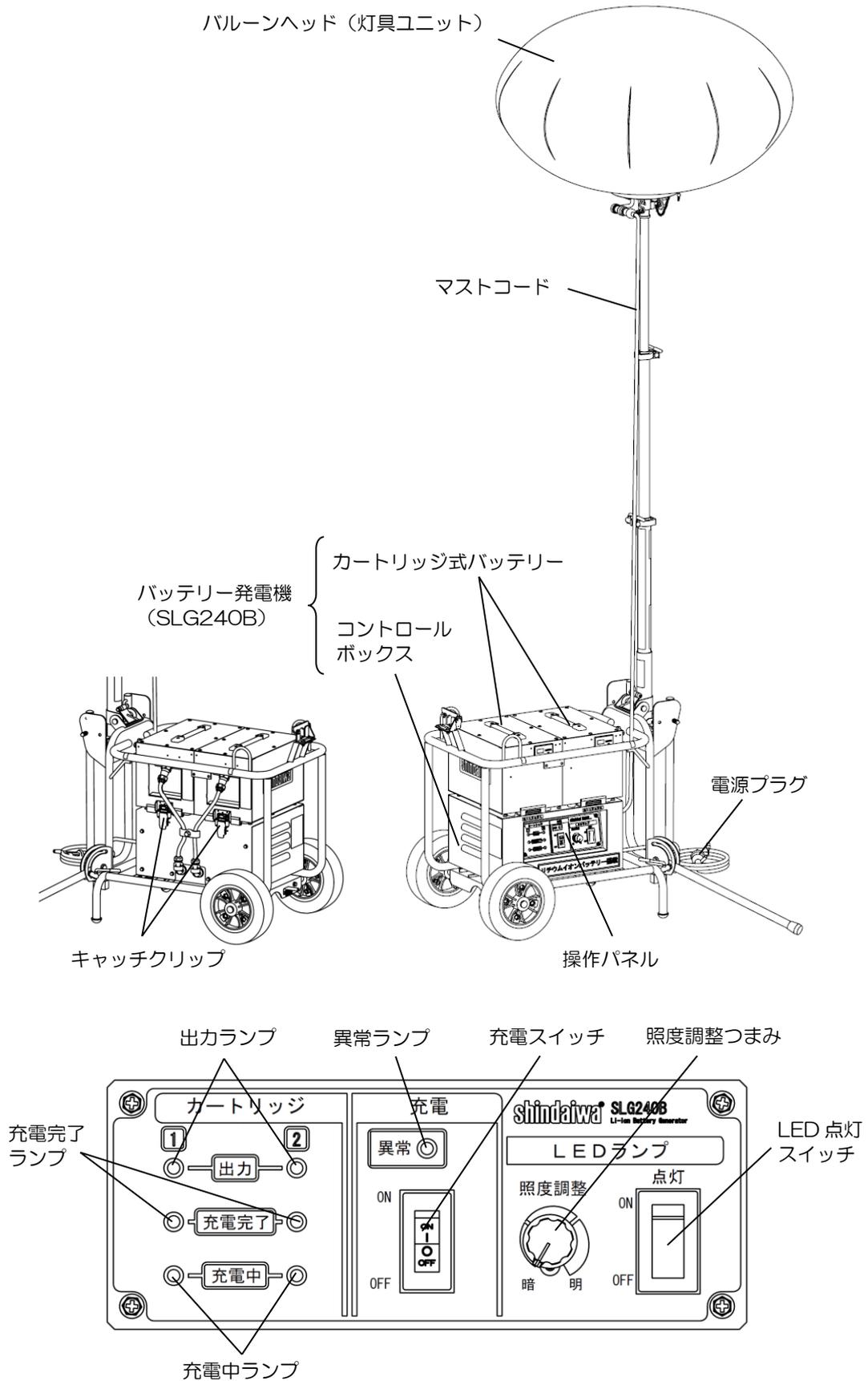
2. 仕様

型式		SMB241LLG			
バルーンヘッド	型式		SMB240LP		
	定格電圧	(V)	DC24		
	定格消費電力	(W)	240		
	バルーン布		－F：全光タイプ －S：反射タイプ		
	ランプ	種類		高輝度白色LED	
		消費電力×数量	(W×個)	40×6	
		全光束	(Lm)	28,800	
		定格電圧	(V)	DC24	
	外形寸法	(mm)	φ840×500		
	質量 (バルーン布、灯具カバーを含む)	(kg)	6		
バッテリー充電機	型式		SLG240B		
	カートリッジ式バッテリー	型式		PLB1000	
		種類		リチウムイオン	
		電圧	(V)	DC38.4	
		容量	(Ah)	54 (27×2 個)	
		容量表示		有 (レベル表示)	
		容量表示スイッチ		有 (表示後 10 秒で消灯)	
		寸法 (L×W×H)	(mm)	324×196×220	
		質量	(kg)	15.8	
		数量	(個)	2	
		コントローラユニット	入力特性	定格電圧	(V)
	定格周波数			(Hz)	50/60
	定格容量			(VA)	700
	充電スイッチ			有	
	LED点灯スイッチ			有	
	照度調整つまみ			有	
	電源コード			VCT2mm ² 3芯 3m	
	モニター		出力中		ランプ
			充電中		ランプ
充電完了			ランプ		
充電異常			ランプ		
入力保護	バッテリー充電	充電スイッチ		ブレーカー (21A)	
		入力電圧異常保護		電子式 (135V以上入力時遮断)	
		バッテリー接続不良		電子式 (遮断)	
出力保護	LED出力	制御回路温度異常保護		電子式	
		制御回路過負荷保護		電子式	
連続点灯時間 (照度最大)	(h)	8			
充電時間	(h)	4 (2×2 個)			
台車	型式		SM46		
	総質量	(kg)	70.9		
	使用温度	(°C)	0~40		

3. 用途

○各種照明

4. 各部の名称



<付属品>

- ・ワランティーシート 1部
- ・M6ボルト 4個

5. 購入時点検・整備



警告：感電

- 点検・整備を行うときは、必ず電源プラグを電源から抜き、バッテリー接続コードも抜いてください。



警告：発熱・発火・破裂

- カートリッジ式バッテリーは本機もしくは別売の専用充電器以外で充電しないでください。
- カートリッジ式バッテリーを火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないでください。
- 水などで濡れたカートリッジ式バッテリーを使用しないでください。
- カートリッジ式バッテリーを変形やショートさせたり、分解・改造しないでください。
- カートリッジ式バッテリーに強い衝撃を与えないでください。落下等の強い衝撃を与えたときは使用しないでください。



注意：爆発・火災

- カートリッジ式バッテリーの着脱を行うときには、接続端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。

工場出荷運送中に、部品の破損等が生じていないか点検してください。

本機を初めて使用するときは、必ずバッテリーを満充電にしてから使用してください。充電方法については、『9-1. バッテリーの充電』の項目をお読みください。

6. 装備

6-1. 充電スイッチ

バッテリーを充電するスイッチです。電源プラグを家庭用100Vコンセントに差し込み、充電スイッチを『ON』にするとバッテリーの充電を開始します。バッテリーが満充電になると、スイッチはON状態のまま、自動的に電源を遮断します。充電完了後は、スイッチを『OFF』にしてください。

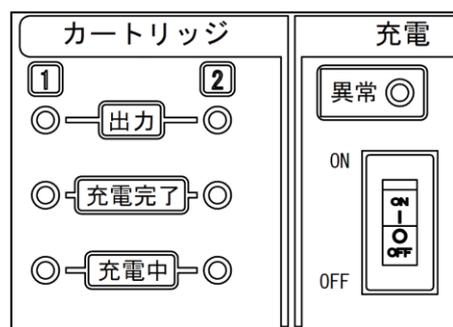
<注意>

- 充電スイッチは、過電流で回路遮断してもスイッチレバーは『ON』の状態のままになります。復帰させる場合は、一度『OFF』にしてから『ON』してください。

6-2. モニターランプ

(1) モニターランプには、次の4種類があります。

- 出力ランプ：出力しているカートリッジ式バッテリーを表示するランプが点灯します。
- 充電完了ランプ：充電が完了したカートリッジ式バッテリーを表示するランプが点灯します。
- 充電中ランプ：充電中のカートリッジ式バッテリーを表示するランプが点灯します。
- 異常ランプ：充電中に異常があると点灯または点滅します。



(2) 出カランプ

バルーンヘッドが点灯しているとき、出力側のバッテリー出カランプが点灯します。充電されたバッテリーを2個搭載した場合、カートリッジ1から出力を開始し、カートリッジ1の出カランプが点灯します。カートリッジ1のバッテリー容量がなくなると、自動的にカートリッジ2に切り替わり、カートリッジ2の出カランプが点灯します。

(3) 充電中ランプ・充電完了ランプ

充電はバッテリー1個につき約2時間で完了します。2個充電する場合は約4時間で完了します。

カートリッジ1から充電を開始し、充電が完了すると自動でカートリッジ2に移行します。充電中は、充電しているカートリッジの充電中ランプが点灯し、充電が完了すると充電中ランプが消灯して充電完了ランプが点灯します。

(4) 異常ランプ

充電中の異常は、次の表のように異常ランプの状態によって原因を判断することができます。

◎：点滅 ○：点灯

異常ランプ	原因	処置
◎ (0.5秒間に2回点滅後 1.5秒消灯)	バッテリー接続コネクタ の接続不良	バッテリー瀬油族コネクタ を確実に接続する
○	温度異常	充電スイッチを切り充電 を中断し冷却を行う。

<注意>

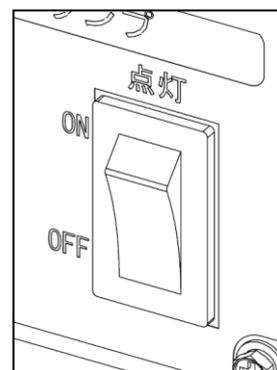
- 処置しても正常にならないときは、お求めの販売店に修理を申しつけてください。

6-3. 点灯スイッチ

LEDを点灯させるスイッチです。

LEDを点灯させる場合はスイッチを1秒以上『ON』に、消灯させる場合は『OFF』にしてください。

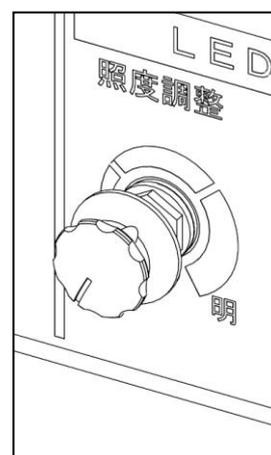
このスイッチは、『ON』の動作後手を離すと中立の位置に戻りますが、『ON』の動作は続きます。



6-4. 照度調整つまみ

LEDの明るさを調整するつまみです。右方向いっぱいまで回した状態が最大照度で、左方向いっぱいまで回した状態が最小照度です。

LEDが明るすぎる場合や、点灯時間を長くしたい場合に、左方向に回して明るさを調整してください。



6-5. 電源プラグ



警告：感電

- 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手でしないでください。
- 本機の充電中は、3ピンの電源プラグ接地ピンまたは、アース線を接地して使用してください。
- 電源コード、バッテリー接続コードは傷ついた状態で使用しないでください。

PLB1000を充電する電源プラグです。電源プラグは3ピン(接地付)プラグで、接地用のピンは内側に折り込むことができますので、2ピン用のコンセントでも使用できますが、電源プラグ横についているアース線(ワニ口クリップ)で必ず接地してください。

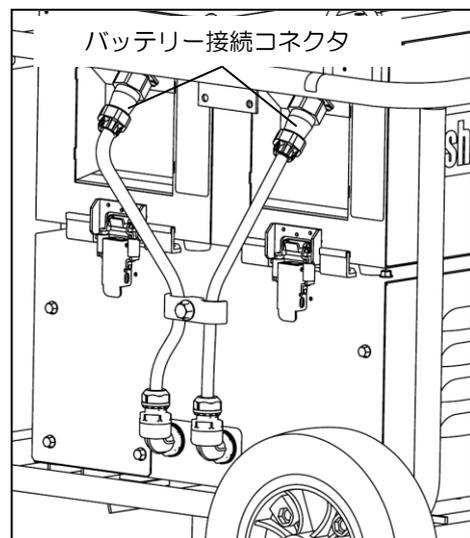
<注意>

- バッテリー充電時の最大電流は、約7Aです。100Vコンセントの容量を確認して接続してください。また、他の機器と同じコンセントに接続すると、コンセントのブレーカー容量をオーバーし遮断することがあります。

6-6. バッテリー接続コネクタ

カートリッジ式バッテリーとコントロールボックスを接続するコネクタです。

接続の時は、コネクタのはめ合い位置を合わせて差し込み、コード側の抜け止めリングを右にカチッと音がするまで回して固定してください。接続を外すときは、抜け止めリングを左に回してゆるめ、コネクタを抜いてください。



<注意>

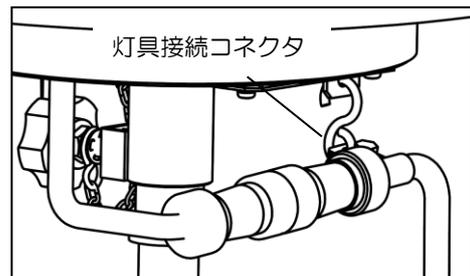
- 充電中やLED点灯中はスパークが発生しますので、バッテリー接続コネクタを外さないでください。

6-7. 灯具接続コネクタ

灯具ユニットとバッテリー発電機を接続するコネクタです。

接続するときは、コネクタのはめ合い位置を合わせて差し込み、コード側の抜け止めリングを右に回して締め付けます。

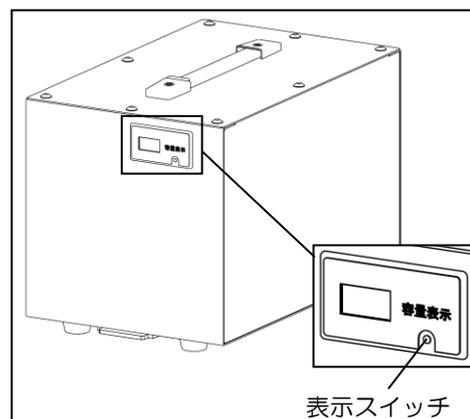
接続を外すときは、抜け止めリングを左に回してゆるめ、コネクタを引き抜いてください。



6-8. バッテリー容量表示

表示スイッチを押すとインジケータが点灯し、バッテリー容量を表示します。

表示後、約10秒後にインジケータが自動的に消灯します。



7. カートリッジ式バッテリーの取付け・取外し方法

⚠ 警告：落下／けが

- カートリッジ式バッテリーを本機から外して運ぶときは、必ずハンドルを持って運んでください。また、安全のため、安全靴を着用してください。

⚠ 警告：発熱・発火・破裂

- カートリッジ式バッテリーに強い衝撃を与えないでください。落下等の強い衝撃を与えたときは使用しないでください。

カートリッジ式バッテリーを取り付けるときは、次の手順で行ってください。

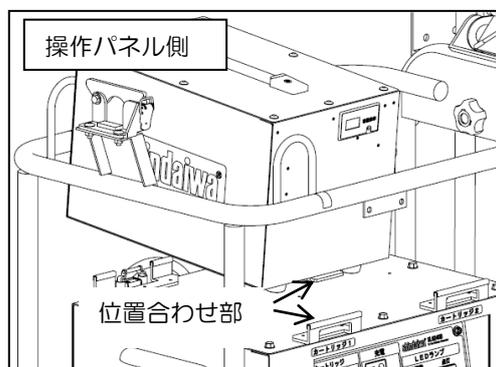
取り外すときは逆の手順で行ってください。

また、キャッチクリップに市販の南京錠等を取り付けることで、バッテリーの盗難を防止できます。

- 1 操作パネル側の位置合わせ部にカートリッジ式バッテリーの位置合わせ部を差し込んだ後、リヤ側にある位置決め部がはまり込むようにバッテリーを置きます。

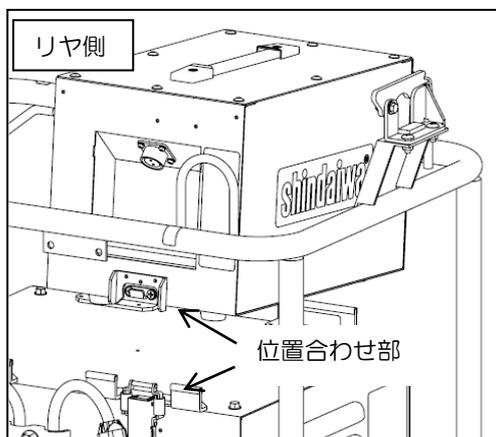
- 2 バッテリーとコントロールボックスをキャッチクリップで固定します。

- 3 バッテリー接続コネクタを接続します。



<注意>

- バッテリー接続コネクタをバッテリーに抜き差しするときは、必ず充電コードが電源に接続されていない状態で、充電スイッチを『OFF』にして行ってください。



8. バルーンヘッドの取付け・取外し方法

⚠ 警告：落下／けが

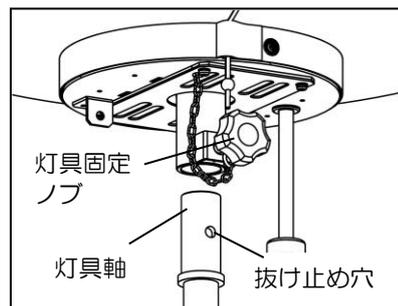
- SM46の灯具軸に灯具ユニットSMB24OLPを取り付ける際は、灯具固定ノブのネジ部先端を灯具軸側の抜け止め穴に入れて確実に締めてください。

8-1. バルーンヘッドの取付け

取付けは、次の方法で行ってください。取り外しは逆の手順で行います。

1 バルーンヘッドの灯具固定ノブをゆるめ、灯具軸が入る穴の内面からねじが飛び出していない状態にします。

2 バルーンヘッドを台車の灯具軸に差し込みます。
このとき、軸側面の抜け止め穴と灯具固定ノブの位置を合わせてください。



3 灯具固定ノブを締め付け、固定します。
このとき、灯具固定ノブを締めきる前に、バルーンヘッドを回転させて、灯具固定ノブのネジ部先端が抜け止め穴に入っているか、確認してください。

<注意>

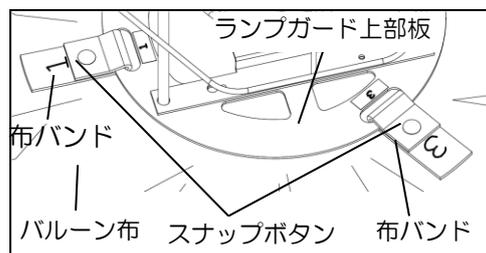
- 灯具固定ノブの締め付け位置が抜け止め穴からずれると、軸の外周を傷つけ、バルーンヘッドが取り外せなくなります。

8-2. バルーン布の取付け

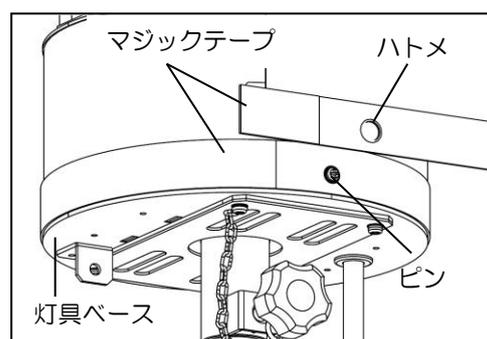
バルーン布は組み付けられておりませんので、購入時は、次の方法で取り付けてご使用ください。取り外しは逆の手順で行います。

1 バルーン布側面のファスナーを開きます。

2 バルーン布内側にある布バンド3本をランプガード上部板の穴に通し、スナップボタンで取り付けます。
このとき、布バンドと上部板に付いている番号を一致させてください。



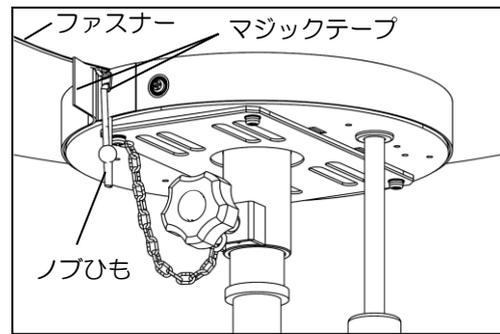
3 バルーン布をランプガードに被せて、バルーン布下部と灯具ベースのマジックテープを貼り合せます。
このとき、バルーン布のマジックテープ端にあるハトメと灯具側マジックテープにあるピン（ネジの頭）を合せて、位置決めをしてください。



- 4 バルーン布側面のファスナーを閉じます。このとき、マジックテープの端を少し剥がして、ファスナーノブひもを挟み、再び貼り合せます。

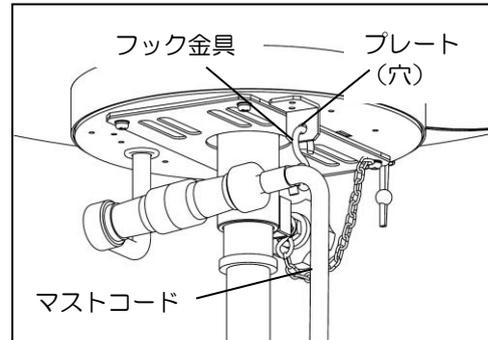
<注意>

- 強風によりファスナーが開くことがありますので、必ずノブひもをマジックテープで挟んでください。



8-3. 灯具接続コードの取り回し

灯具接続コードのコネクタに無理な力が加わらないように、フック金具を灯具ベース下部のプレートの穴に引っ掛けて使用してください。



8-4. 灯具カバーの取り付け

<注意>

- 台車に取り付けたまま一時保管するときも、カバーを掛けてください。灯具カバーを掛けないと風による擦れや紫外線にり、バルーン布が劣化し、寿命が低下します。

バルーンヘッドを台車に取り付けた状態で行うと、容易に取付けられます。

- 1 バルーン布をランプガードに巻き付けます。
- 2 灯具カバーの側面のファスナーを開けます。
- 3 灯具の横から灯具カバーを被せ、ファスナーを閉めます。

<注意>

- ファスナーを閉めるとき、バルーン布を挟まないよう注意してください。

- 4 バルーンヘッドを台車から降ろしたら、灯具カバー口元をコードストッパーで絞り、ひもを結びます。

<注意>

- ひもを結ばないと、コードストッパーがずれ、灯具ユニットが飛び出すおそれがあります。



9. 運転手順

- ⚠ 警告：転倒／けが**
- バッテリー発電機は必ず投光機用台車に取り付けて使用し、転倒風速以下で使用してください。転倒風速は投光機用台車の取扱説明書を参照してください。
 - 地盤のしっかりした水平な場所で使用してください。
- ⚠ 警告：落下／けが**
- 投光機用台車の灯具軸にバルーンヘッドを取り付けるときは、灯具固定ノブのネジ部先端を灯具軸側面の抜け止め穴に入れて確実に締めてください。
- ⚠ 警告：感電**
- 充電中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
 - 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手でしないでください。
 - 本機の充電中は、3ピンの電源プラグ接地ピンまたは、アース線を接地して使用してください。
 - 電源コード、バッテリー接続コードは傷ついた状態で使用しないでください。
- ⚠ 警告：発熱・発火・破裂**
- カートリッジ式バッテリーは本機もしくは別売の専用充電器以外で充電しないでください。
 - カートリッジ式バッテリーを火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないでください。
 - 水などで濡れたカートリッジ式バッテリーを使用しないでください。
 - カートリッジ式バッテリーを変形やショートさせたり、分解・改造しないでください。
 - カートリッジ式バッテリーに強い衝撃を与えないでください。落下等の強い衝撃を与えたときは使用しないでください。
- ⚠ 警告：視力障害**
- ランプの近くで長時間作業したり、ランプを直視しないでください。
- ⚠ 注意：感電**
- 本機に水をかけたり、雨中で使用しないでください。
- ⚠ 注意：爆発・火災**
- カートリッジ式バッテリーの着脱を行うときには、接続端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。
- ⚠ 注意：やけど**
- LED点灯時や消灯直後は、バルーンヘッドが高温になっていますので触れないでください。
- ⚠ 注意：けが**
- 改造したり、部品を外したまま使用しないでください。

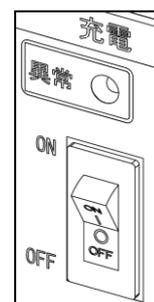
9-1. バッテリーの充電

1 電源プラグを家庭用100Vコンセントに差し込みます。3ピン用コンセントでない場合はアース線を接地します。

2 充電スイッチを『ON』にします。

<注意>

- バッテリーを充電しながらLEDを点灯することはできません。



9-2. 点灯

- 1 照明する場所に本機を移動し、台車のキャスターをロックします。
(別紙『投光機用台車の取扱説明書』を参照)
- 2 アウトリガーを設置し、マストを起こします。
(別紙『投光機用台車の取扱説明書』を参照)
- 3 灯具カバーからバルーンヘッドを取り出します。
- 4 マストにバルーンヘッドを取り付けます。
(『8-1. バルーンヘッドの取付け』の項を参照)
- 5 灯具接続コネクタをバルーンヘッドのレセプタクルに接続し、フック金具をプレートに引っ掛けます。
- 6 バッテリー容量表示スイッチを『ON』にしてバッテリー容量を確認します。
バッテリー容量表示が2目盛り以下であれば充電してからご使用ください。
(『6-8. バッテリー容量表示』の項を参照)
- 7 LED点灯スイッチを『ON』にします。
- 8 マストを上昇させて、バルーンヘッドを任意の高さに合わせます。
(別紙『投光機用台車の取扱説明書』を参照)
- 9 照度調整つまみで照度(明るさ)を調整します。
(『6-4. 照度調整つまみ』の項を参照)

<注意>

- LEDを点灯しながらバッテリーを充電することはできません。

9-3. 消灯

- 1 マストを降下させます。(別紙『投光機用台車の取扱説明書』を参照)
- 2 LED点灯スイッチを『OFF』にします。

9-4. 灯具の収納

- 1 バルーンヘッドから灯具接続コネクタを取り外し、フック金具を外します。
- 2 バルーン布をランプガードに巻き付けます。
- 3 灯具カバーを掛けます。(『8-4. 灯具カバーの取付け』の項を参照)

<注意>

- 一時保管するときも、カバーを掛けてください。灯具カバーを掛けないと風による擦れや紫外線により、バルーン布の寿命が低下します。

- 4 灯具固定ノブの先端が灯具軸のキリ穴から外れるまで、固定ノブをゆるめ、バルーンヘッドをマストから取り外します。
- 5 マストを倒し、灯具軸をマストホルダーで固定します。
- 6 アウトリガーを収納します。

10. 点検・整備

- ⚠ 警告：落下／けが**
- カートリッジ式バッテリーを本機から外して運ぶときは、必ずハンドルを持って運んでください。また、安全のため、安全靴を着用してください。
- ⚠ 警告：感電**
- 充電中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
 - 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手でしないでください。
 - 点検・整備を行うときは、必ず電源プラグを電源から抜き、バッテリー接続コードも抜いてください。
- ⚠ 警告：発熱・発火・破裂**
- カートリッジ式バッテリーを変形やショートさせたり、分解・改造しないでください。
 - カートリッジ式バッテリーに強い衝撃を与えないでください。落下等の強い衝撃を与えたときは使用しないでください。
- ⚠ 警告：視力障害**
- ランプの近くで長時間作業したり、ランプを直視しないでください。
- ⚠ 注意：爆発・火災**
- カートリッジ式バッテリーの着脱を行うときには、接続端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。
- ⚠ 注意：やけど**
- LED点灯時や消灯直後は、バルーンヘッドが高温になっていますので触れないでください。
- ⚠ 注意：けが**
- 改造したり、部品を外したまま使用しないでください。

本機を常に良好な状態で使用できるよう、次の表にしたがって定期的に点検・整備を行ってください。

<注意>

- 交換部品は、必ず純正品を使用してください。
- バッテリーその他の有害物を捨てる場合は、産業廃棄物として関連法規に基づいた処理を行ってください。処理にお困りのときは、お求めの販売店にご相談ください。

点検箇所	点検内容	始業前	月に1度	処置
バッテリー接続コネクタ	抜け	○		差し込み
電源コード	コードの傷付き	○		補修、交換
バルーン布	破れ	○		補修、交換
	汚れ	○		ふき取り、交換
ファン	異音（運転確認）	○		交換
フィルター	目詰まり		○	水または中性洗剤で揉み洗い

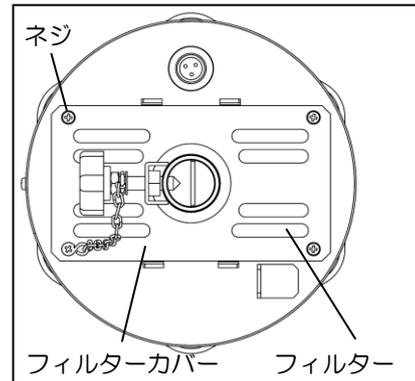
10-1. カートリッジ式バッテリーの管理

本機を長く使用していただくためには、バッテリーの管理が重要なポイントとなります。次の点に留意してください。

- (1) 風通しがよく、雨水のかからない場所に保管してください。
- (2) 使用後は、必ず満充電にして保管してください。放電した状態での保管はバッテリーの寿命を著しく縮めます。
長時間使用しない場合は、バッテリーの劣化を抑えるため、定期的に充電を行ってください。
- (3) 次の現象が現れたら、バッテリーの寿命です。新品のカートリッジ式バッテリーと交換してください。
 - 充電しても、点灯時間が著しく短くなった。
 - 充電しても、バッテリー電圧（バッテリーコネクタ両端の電圧）が38V以上の値にならない。

10-2. フィルターの清掃

- 1 フィルターカバー固定のネジ4本をゆるめ、フィルターカバーを外します。
- 2 フィルターは半割りになっていますので横に取り出し、水または中性洗剤で軽く揉み洗いし乾燥させます。
- 3 フィルターの取り付けは逆の手順で行います。



10-3. バルーン布の汚れ落とし

中性洗剤をつけた布で、汚れをふきとってください。

<注意>

- アルコール、ガソリンなどの溶剤は使用しないでください。
- 生地のコーティングを傷めますので、揉み洗いや洗濯機洗いは行わないでください。

10-4. バルーン布の補修

補修用シート（裏面接着式）を補修箇所のほこりや油分をきれいに落として、貼り付け、しっかり押え付けてください。

11. 長期保管

⚠ 注意：けが

- 改造したり、部品を外したまま使用しないでください。

⚠ 注意：やけど

- LED点灯時や消灯直後は、バルーンヘッドが高温になっていますので触れないでください。

本機を2ヶ月以上使用しないときは、次の手順で整備を行ってください。

- 1 泥や汚れを落とします。
- 2 マストを完全に下げて固定し、収納します。
- 3 風通しがよく、雨水のかからない保管場所に移動します。
- 4 カートリッジ式バッテリーを充電した後、バッテリー接続コネクタを外した状態で保管します。

12. 故障時の対応

警告：落下／けが

- カートリッジ式バッテリーを本機から外して運ぶときは、必ずハンドルを持って運んでください。また、安全のため、安全靴を着用してください。
- 投光機用台車の灯具軸にバルーンヘッドを取り付けるときは、灯具固定ノブのネジ部先端を灯具軸側面の抜け止め穴に入れて確実に締めてください。

警告：感電

- 充電中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
- 点検・整備を行うときは、必ず電源プラグを電源から抜き、バッテリー接続コードも抜いてください。

警告：発熱・発火・破裂

- 水などで濡れたバッテリーを使用しないでください。
- カートリッジ式バッテリーを変形やショートさせたり、分解・改造しないでください。
- カートリッジ式バッテリーに強い衝撃を与えないでください。落下等の強い衝撃を与えたときは使用しないでください。

警告：視力障害

- ランプの近くで長時間作業したり、ランプを直視しないでください。

注意：感電

- 本機に水をかけたり、雨中で使用しないでください。

注意：爆発・火災

- カートリッジ式バッテリーの着脱を行うときには、接続端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。

注意：やけど

- LED点灯時や消灯直後は、バルーンヘッドが高温になっていますので触れないでください。

注意：けが

- 改造したり、部品を外したまま使用しないでください。

本機の調子が悪いときは、次の表にしたがって点検してください。点検しても正常にならないときは、お求めの販売店に修理を申しつけてください。

症状		推定原因	処置
充電しない	充電中ランプが消灯している	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込む
		充電スイッチが『OFF』	『ON』にする
		電源電圧が低下している	100V 電源に接続する
	異常ランプが点滅	バッテリー接続コネクタの接続不良	確実に接続する

症状	推定原因	処置
充電が完了しない (充電中ランプが点灯し、充電完了ランプが消灯している)	電源電圧の低下	100V電源に接続する
LEDが点灯しない	出力スイッチが『OFF』	『ON』にする
	充電スイッチが『ON』	『OFF』にする
	バッテリーコネクタの接続不良	出力スイッチを一度『OFF』にしたのち、コネクタを確実に接続し、『ON』にする
	灯具接続コネクタの接続不良	出力スイッチを一度『OFF』にしたのち、コネクタを確実に接続し、『ON』にする
	バッテリー容量の低下	充電する (バッテリー容量を確認する)
LEDの点灯時間が短い	バッテリー容量の低下	充電する (バッテリー容量を確認する)
	バッテリー寿命	カートリッジ式バッテリーを交換する

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2 Tel 0428-32-6181

やまびこジャパン株式会社

〒198-0025 東京都青梅市末広町1-7-2 Tel 0428-32-1005 (代)

北海道支社

〒004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東1-2-20 Tel 011-891-2249 (代)

東北支社

〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東5-1-50 Tel 022-288-0511 (代)

東日本支社

〒198-0025 東京都青梅市末広町1-7-2 Tel 0428-32-1091 (代)

中部支社

〒452-0031 愛知県清須市西枇杷島町宮前1-39 Tel 052-502-4111 (代)

西日本支社

〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田566-159 Tel 086-296-5911 (代)

九州支社

〒816-0943 福岡県大野城市白木原5-3-7 Tel 092-573-5361 (代)

ご用命の際はご購入いただいた販売店へご連絡ください。